

明治学園（北九州市）の生徒7名が災害科学国際研究所に来訪しました (2023/12/26)

テーマ：明治学園（北九州市）の生徒7名が災害科学国際研究所に来訪されました。

会場：災害科学国際研究所

URL：<https://meijigakuen.ed.jp/news/category/jsh/>

2023（令和5）年12月26日（火）に、北九州市にある1910年開校の歴史ある明治学園の「自然災害と防災・減災チーム」の高校2年生7名と、教諭1名を含む引率者5名が、災害科学国際研究所に来訪されました。本学から情報知能システム研究センター（IIS研究センター）の館田あゆみ特任教授、共創戦略センターの山田健一特任教授と阿部勇介特任教授、当研究所の中鉢奈津子特任准教授（広報室）と鎌田健一特任教授（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）が参加しました。1907年に創設された本学の特徴や、ナノテラスを含む主な取り組みを説明、そして当研究所の成り立ちと特色、仙台防災枠組についての解説と当研究所の貢献の内容、津波工学研究室の紹介と、報道機関にも取り上げられた学生による避難行動に関する研究事例の紹介等を行いました。

普段から防災・減災について学んでいる生徒の皆さんの関心は非常に高く、講義が終わった後も熱心に質問され、その内容の真剣さと質問の高度さに大いに刺激を受けることになりました。

当研究所では防災に関心を持つ学生さん達の興味・関心を一層高め、知見を深めていただけるよう、今後とも支援を継続してまいります。



ナノテラスについて説明する館田特任教授



当研究所について説明する中鉢特任准教授



熱心に質問する生徒たち



災害科学国際研究所の前で記念撮影